

# 常盤の翠

志・寛・錬

発行

平成30年9月28日

鹿児島市立伊敷中学校

## 「感動することの意味」

校長 寺園 伸二

こぼれそうになる涙を抑えようと上を向いたとき、目に飛び込んできた秋空が、強く印象に残った体育大会でした。目の前で演技する応援団の真剣なまなざしとあらん限りの大声と全力を出し切った末の大粒の涙を見れば誰でも涙があふれます。感動という言葉をつくった先達は、人は「感動すること」で動かされる「生き物だ」ということを分っていたのでしよう。心が揺さぶられ、優しい気持ちになりました。

人はどんなときに感動し、心を動かされるのでしょうか。誠実に直向きに一生懸命取り組んでいる姿、自分だけのためではなく、仲間のため、自分以外の誰かのために取り組んでいる姿、そして、そこに至るまでには、どんな辛い努力を重ねてきたのだろうと想像させられる姿、そんな姿に触れたとき、人は心を揺さぶられます。それは、ただ直向きに努力することが実は一番難しいことを、人は分かっているからではないのでしょうか。だからこそ、損得や計算が無く、ただ無心に一生懸命に生きていく姿に触れたとき、人は知らず知らずのうちに自分の生き様と重ね合わせ、その直向きさに感動し、エールを送るのだと思います。

南極探検隊員募集  
求む隊員。  
至難の旅。  
わずかな報酬。  
極寒。  
暗黒の日々。  
絶えざる危険。  
生還の保障はない。  
成功の暁には名譽と賞賛を得る。  
P アーネスト・シヤクルトン卿



もし、この南極探検隊員募集のキヤッチコピーが、「南極探検隊になつて地位と名譽を勝ちとろう。」だったら、おそらく五千人もの応募はなかったでしょう。応募があつたとしても、過酷な南極探検と一緒に乗り越えられるような志の高い人材が応募してきたでしょうか。人が感じて動く動機は、お金や地位だけではないことを証明した求人広告は、今なお語り継がれています。人は損得感情で計れないものを大切に生きていくのです。

感動の涙を流すのは人間だけです。動物は感動して涙を流すことはありません。感動することは人間が人間だからこそ味わうことのできる素晴らしい体験です。直向きに努力する姿、損得を超えて誰かのために生きる姿、そんな生き方に共感し、自分もそんな生き方をしたいと願うところに感動することの意味があります。感動すること自体が素晴らしいことなのです。伊敷中の皆さん。私たちはもっと素直に感動してもいいのかもしれない。

## 人が育ち人を育てる学校 教育実習を通して

9月6日より始まった教育実習が28日で修了となります。約3週間、給食や体育大会の練習、本番、清掃等様々な面で触れ合いがあったのではないかと、と思います。年齢が近い分、話も盛り上がったのではないのでしょうか。

特に授業では、不慣れではありますが、実習の先生方それぞれの特徴を生かして授業展開がなされたことと思います。先生方は一時間の授業を行うために、その何倍もの時間をかけて計画を立て、準備を行なうのです。その想いを酌みとり、先生方に教わったことをもう一度振り返って、みてほしいと思います。



実習の先生方にとって、皆さんとの触れ合いや贈られた色紙は一生の思い出となることでしょう。出会いを大切に。わたしたちもまた成長をして、先生方とどこかで再会できることを願いましょう。

## バトンを受け継ぎ 生徒会立会い演説会



12日に行われた生徒会立会い演説会では、各立候補者が堂々と自分の考えを述べました。「当たり前を当たり前」「名前」「意見箱の利用を促す」「名前のない仕事をしっかりと」などの提案に、二年生には真剣にうなづく姿が見られ、また三年生は温かく見守る姿が印象的でした。どの候補者の演説にも気持ちがかもっており、投票するのが難しかったのではないのでしょうか。

第72代生徒会の活動も残すところ一ヶ月余りとなりました。「We are the one」のスローガンを掲げ、先頭に立ち、後輩たちに受け継がれているように、各学級の係活動も入れ替わりを迎えるようとしています。活動のまとめをしっかりと行いましょう。

## 10月の主な行事予定

- 2日 スポーツ教室（～5日）
- 6日 中間テスト前部活動停止（～9日）
- 9日 中間テスト・給食試食会
- 11日 身体計測
- 13日 土曜授業
- 15日 1年集団宿泊事前学習
- 16日 2年修学旅行事前学習
- 16日 1年集団宿泊学習（～18日）
- 17日 2年修学旅行（～18日）
- 17日 3年私立高校説明会（～18日）
- 19日 1年休養措置日
- 19日 2年休養措置日
- 24日 生徒会引継式

## 第72回 体育大会

魅せる団結 闘志を燃やし  
巻き起こせ 勝利の風

平成最後の体育大会。伊敷中のグラウンドには熱気が満ちあふれていました。声を枯らして応援した、ゴールした後倒れ込んだり、笑顔でフオーワードを踊ったり、応援団の演舞を身を乗り出して見つめたり：全て種目でそれぞれにドラマが生まれ、みんなで成し遂げる感動を味わうことができたのではないのでしょうか。

感動を味わったのは、わたしたちだけではなく、保護者、地域の方々、来賓の方々からも「伊敷中の体育大会は本当に素晴らしい」という言葉をたくさんいただきました。また、今年は雨のために準備が進みませんでした。部活動生を中心に、自主的に準備を手伝う姿が数多く見られました。後片付けでも「終わりました。次に何をすればいいですか。」と声を掛けてくる生徒が多く、競技以外の面でも団結を魅せることができていたように思います。体育大会で培った絆を大切に、また日常生活を充実させてほしいものです。



# 体育大会を終えて



第72回体育大会を実行委員長として運営し、成功に導いた生徒会体育部長井之ト翔真さんにインタビューを行いました。

Q どんな気持ちで体育大会に臨んだか？

→ 一年に一回しかない大きな行事。その責任者は自分なので、とても緊張した。

Q 体育大会を更によくするために考えていたことは？

→ 去年の体育大会はすごく盛り上がった。伝統を引き継ぐのはもちろんのこと、係以外の生徒の意識を高めれば、もっと盛り上がるかと考えていた。

Q そのために心掛けたことは？

→ 事前の打ち合わせを綿密にして、無駄な時間を省くこと。だからだとすると、周りの意識が低くなるので、例えば応援団に練習の流れを事前に伝えることなどは徹底した。

Q 苦労したことは？

→ ラジオ体操を鏡で（みんな逆で）行うこと。山之内先生に指導していただいた。

Q やりがいを感じたときは？

→ 返事や動きなど、練習をするにつれどんどんよくなり、みんなが参加する一体感が観じられた。

Q 次に生かしたいことは？

→ 大きな仕事を任せられたときは準備を大切にすること。そして、周りを見て視野を広げて動くこと。文化祭や受験においてもクラスでまとめるために中心となって雰囲気をつくりたい。



## 【県総体】

### ○陸上

男子共通棒高跳び	第1位	3M00	坂元 悠真
女子3年800M	第3位	3年2組	宇都ひなた
男子1年1500M	第5位	1年2組	宮内 大輔
男子共通800M	第6位	3年5組	池下 立樹
女子共通1500M	第8位	3年2組	宇都ひなた

### ○バドミントン

男子団体	第3位	3年2組	松下 宝磨
男子シングルス	優勝	3年3組	牛込 武斗
女子シングルス	優勝	1年1組	塩川 隆介
		2年5組	福元 大貴
		3年6組	福富 悠斗
		3年5組	井手 孝彩
		3年4組	重久 誉
		3年3組	牛込 武斗

### ○女子ソフトボール

女子ソフトボール	第3位	1年5組	瀧川 七花
----------	-----	------	-------

### ○柔道

男子シングルス	優勝	3年3組	牛込 武斗
女子シングルス	優勝	3年4組	橋野 光

### ○テニス

男子団体

優勝

3年1組	村岡 優樹
3年2組	安藤 遼
3年3組	古市晃太郎
3年4組	川路 悠斗
3年5組	山崎 壮真
3年6組	永村 優翔
2年2組	堀切 望夢
2年4組	平山凜太郎
2年6組	内村 翔大
1年5組	川上 慶楨
3年6組	永村 優翔
3年3組	山崎 壮真
3年3組	内村 翔大
2年6組	内村 翔大

### ○第52回県中学校音楽コンクール「夏の祭典」

金賞

吹奏楽部

### 【九州大会】

#### ○バドミントン部

男子シングルス

準優勝

3年3組	牛込 武斗
------	-------



